



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日
上場取引所 札

上場会社名 日本グランド株式会社
 コード番号 2976 URL <https://www.nippon-grande.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 平野 雅博
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 矢代 俊二 (TEL) 011-211-8124
 四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,676	49.2	20	—	△6	—	△4	—
2023年3月期第3四半期	1,794	△10.8	△8	—	△24	—	14	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △1百万円(—%) 2023年3月期第3四半期 14百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△3.07	—
2023年3月期第3四半期	11.37	10.93

(注) 2024年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,689	1,952	29.2
2023年3月期	8,465	1,971	23.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,952百万円 2023年3月期 1,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	4,393	△3.7	145	△27.6	107	△40.3	74	△52.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	1,343,600株	2023年3月期	1,343,600株
2024年3月期3Q	一株	2023年3月期	一株
2024年3月期3Q	1,343,600株	2023年3月期3Q	1,300,100株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み緩やかな回復基調が続いております。一方で、地政学リスクの高まりによる景気の下押しリスク、為替相場の変動、資源価格や原材料価格の高騰による物価の上昇など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループが属する不動産業界におきましては、札幌市の新築分譲マンション市場は、都心部の大型タワーマンションの供給が一段落し、用地代、人件費や建築資材価格等建築費の上昇に伴うマンション販売価格の上昇が続いており、また、住宅ローン環境の変化や所得上昇が進まない現状も影響して、住宅取得マインドが減退し供給及び成約とも前年同期を下回り、好況に歯止めが掛かっている状況となっております。

このような状況の中、当社グループは、販売促進のための各施策に取り組み、また、グループの組織の見直しを行い、収益確保のための各施策にも取り組んでまいりました。

当社グループの主力事業であります不動産分譲事業におきましては、当第3四半期連結累計期間において、新築では分譲マンション39戸、分譲戸建住宅1戸、前期繰越在庫では分譲マンション16戸の引渡となり、総引渡戸数は56戸（前年同期比28.5戸増）となりました。なお、第4四半期連結会計期間における新築分譲マンションは1物件、新築分譲戸建住宅は4戸の竣工・引渡を予定しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,676,834千円（前年同期比49.2%増）、営業利益は20,412千円（前年同期は8,168千円の営業損失）、経常損失は6,278千円（前年同期は24,121千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は4,128千円（前年同期は14,779千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(不動産分譲事業)

当第3四半期連結累計期間における分譲マンション事業におきましては、新築分譲マンション1物件「グランファーレ環状通東グランディオ」を竣工し39戸の引渡を完了したほか、前期繰越在庫16戸の引渡を含めた55戸（前年同期比27.5戸増）の引渡を行っております。また、第4四半期連結会計期間に竣工予定の「グランファーレ幌西グランシェール」につきましては、販売を継続しております。また、第4四半期連結会計期間に竣工・引渡の予定でありました「グランファーレ真駒内グランフォレスト」につきましては、工期の遅延のため、竣工・引渡は来期に変更となっております。

分譲戸建住宅事業におきましては、第1四半期連結会計期間に竣工した新築分譲戸建住宅「ラ・レジーナ福住」1戸（前年同期比1戸増）の引渡を行っております。なお、「ラ・レジーナ福住」及び第4四半期連結会計期間に竣工予定の「ラ・レジーナ幌西」につきましては、販売を継続しております。

当第3四半期連結累計期間における分譲マンション及び分譲戸建住宅の引渡戸数は56戸（前年同期比28.5戸増）、売上高は2,094,915千円（前年同期比99.8%増）となりました。主な増加の要因は、当第3四半期連結会計期間において、新築分譲マンション1物件を竣工・引渡したためであります。

その他の売上高は31,182千円（前年同期比86.8%減）となりました。主な減少の要因は、前第2四半期連結会計期間において、販売用不動産（土地）を売却したためであります。

この結果、不動産分譲事業の売上高は2,126,097千円（前年同期比65.4%増）となり、セグメント利益は25,078千円（前年同期は4,160千円のセグメント利益）となりました。

(不動産賃貸事業)

当第3四半期連結累計期間におけるサービス付き高齢者向け住宅事業におきましては、賃貸料収入は246,009千円(前年同期比5.5%増)となりました。

収益不動産の賃貸事業におきましては、賃貸料収入は49,354千円(前年同期比4.2%減)となりました。

その他として、サービス付き高齢者向け住宅支援サービス事業等による売上高は122,812千円(前年同期比10.1%増)となりました。

この結果、不動産賃貸事業の売上高は418,176千円(前年同期比5.6%増)となり、セグメント利益は141,261千円(前年同期比6.2%増)になりました。セグメント利益率につきましては33.8%(前年同期比0.2ポイント増)となりました。

(不動産関連事業)

当第3四半期連結累計期間におけるマンション管理事業におきましては、分譲マンションの管理棟数が増加したこと等により、売上高は92,463千円(前年同期比9.9%増)となりました。

その他の売上高は、40,097千円(前年同期比40.4%増)となりました。

この結果、不動産関連事業の売上高は132,560千円(前年同期比17.7%増)となり、セグメント利益は26,607千円(前年同期比6.9%減)となりました。セグメント利益率につきましては20.1%(前年同期比5.3ポイント減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,776,911千円減少し、6,689,027千円となりました。このうち流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,712,059千円減少し、3,582,344千円となり、固定資産は、前連結会計年度末に比べて64,851千円減少し、3,106,682千円となりました。流動資産の主な増加の要因は、仕掛販売用不動産の増加341,229千円及び未収入金の増加45,990千円であり、主な減少の要因は、現金及び預金の減少1,469,553千円、販売用不動産の減少513,459千円、その他の棚卸資産の減少7,714千円、前払費用の減少8,122千円及び未収消費税等の減少99,303千円であります。固定資産の主な減少の要因は、有形固定資産の減少67,041千円であります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,757,684千円減少し、4,736,938千円となりました。このうち流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,598,739千円減少し、2,377,235千円となり、固定負債は、前連結会計年度末に比べて158,945千円減少し、2,359,702千円となりました。流動負債の主な増加の要因は、1年内返済予定の長期借入金の増加28,179千円及び未払消費税等の増加47,715千円であります。主な減少の要因は、買掛金及び工事未払金の減少1,477,310千円、短期借入金の減少29,900千円、未払法人税等の減少58,398千円、預り金の減少35,799千円、マンション事業前受金の減少60,408千円及びその他事業前受金の減少13,409千円であります。固定負債の主な減少の要因は、長期借入金の減少161,969千円であります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて19,226千円減少し、1,952,088千円となりました。主な増加の要因は、その他有価証券評価差額金が2,369千円増加したことであり、主な減少の要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したほか、配当金の支払いにより利益剰余金が21,595千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年8月31日の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,562,417	1,092,864
売掛金及び契約資産	17,489	18,279
販売用不動産	631,956	118,497
仕掛販売用不動産	1,895,449	2,236,678
その他の棚卸資産	14,566	6,852
その他	172,523	109,172
流動資産合計	5,294,403	3,582,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,322,373	2,257,418
土地	775,139	775,939
その他（純額）	19,679	16,793
有形固定資産合計	3,117,191	3,050,150
無形固定資産	3,042	7,434
投資その他の資産	51,299	49,097
固定資産合計	3,171,534	3,106,682
資産合計	8,465,938	6,689,027

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金及び工事未払金	1,962,048	484,738
短期借入金	1,481,000	1,451,100
1年内返済予定の長期借入金	198,992	227,171
未払法人税等	62,143	3,744
賞与引当金	4,346	1,223
株主優待引当金	2,444	152
預り金	66,738	30,939
その他	198,260	178,166
流動負債合計	3,975,974	2,377,235
固定負債		
長期借入金	2,421,015	2,259,046
その他	97,633	100,656
固定負債合計	2,518,648	2,359,702
負債合計	6,494,622	4,736,938
純資産の部		
株主資本		
資本金	182,726	182,726
資本剰余金	82,726	82,726
利益剰余金	1,705,991	1,684,396
株主資本合計	1,971,443	1,949,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△128	2,240
その他の包括利益累計額合計	△128	2,240
純資産合計	1,971,315	1,952,088
負債純資産合計	8,465,938	6,689,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	1,794,338	2,676,834
売上原価	1,385,610	2,217,486
売上総利益	408,727	459,348
販売費及び一般管理費	416,896	438,935
営業利益又は営業損失(△)	△8,168	20,412
営業外収益		
受取利息及び配当金	71	93
受取手数料	932	1,556
金利スワップ評価益	2,238	304
違約金収入	6,049	388
補助金収入	1,333	1,071
保険解約返戻金	—	149
その他	1,497	2,377
営業外収益合計	12,122	5,941
営業外費用		
支払利息	27,766	30,500
その他	309	2,133
営業外費用合計	28,075	32,633
経常損失(△)	△24,121	△6,278
特別利益		
固定資産売却益	841	—
保険解約返戻金	47,685	—
特別利益合計	48,527	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	24,405	△6,278
法人税等	9,626	△2,150
四半期純利益又は四半期純損失(△)	14,779	△4,128
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	14,779	△4,128

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	14,779	△4,128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△438	2,369
その他の包括利益合計	△438	2,369
四半期包括利益	14,340	△1,759
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,340	△1,759

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 分譲事業	不動産 賃貸事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,285,544	396,132	112,661	1,794,338	—	1,794,338
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	11,352	11,352	△11,352	—
計	1,285,544	396,132	124,014	1,805,691	△11,352	1,794,338
セグメント利益又は損失(△)	4,160	132,973	28,575	165,709	△173,877	△8,168

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△173,877千円には、セグメント間取引消去△11,352千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△162,525千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 分譲事業	不動産 賃貸事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,126,097	418,176	132,560	2,676,834	—	2,676,834
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	9,436	9,436	△9,436	—
計	2,126,097	418,176	141,996	2,686,271	△9,436	2,676,834
セグメント利益又は損失(△)	25,078	141,261	26,607	192,947	△172,534	20,412

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△172,534千円には、セグメント間取引消去△9,436千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△163,098千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、家具・カーテン・コーティング等受注事業につきまして、従来の「不動産分譲事業」セグメントから「不動産関連事業」セグメントへ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。